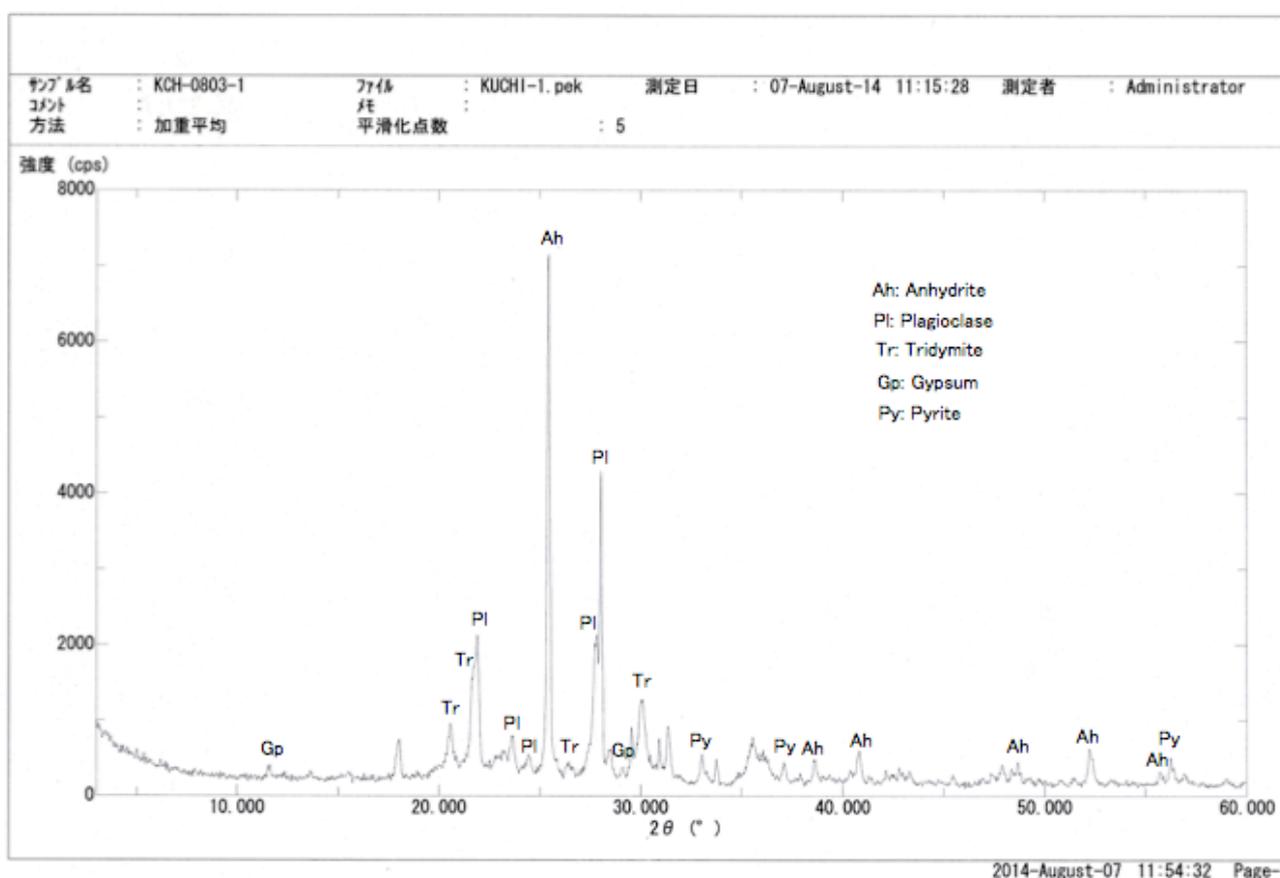


## 口永良部島火山 2014 年 8 月 3 日噴出物の構成粒子 追加資料：X 線回折分析結果

主な鉱物は、硬石膏、斜長石、トリディマイト (+石英少量?)、これに少量の黄鉄鉱、石膏等が伴われる。わずかにカオリナイトがふくまれると思われるピークがあるが、他に粘土鉱物と思われるピークはない (第一図)。斜長石以外は熱水変質によるものと思われる。硫酸塩鉱物が多いことから、火山ガスを凝縮した山体内部の地下水が酸性熱水となり、山頂付近を含む比較的浅所で周囲の母岩に熱水変質を及ぼしていることが推定される。したがって、今回は山頂近くの主に変質鉱物が爆発に伴って噴出した可能性が考えられる。



第 1 図：8 月 3 日噴出物の XRD (X 線回折) プロファイル